

発行日 平成 30 年 6 月 21 日
 発行 笠間市社協東支部
 編集 広報委員会
 印刷 有限会社 テクノプラン

試合後に
 急いで行くよ
 夏祭り



友部小 5 年(当時)
 島津 翔太

(平成 29 年度笠間市文化協会、
 子ども俳句大会入選作品より)



枝垂桜満開 飯田 1 区 藤枝一美氏所有 (撮影 市川惣三郎)

平成 29 年度収支決算報告と平成 30 年度収支予算 (単位は円)

<収入の部>			<支出の部>		
科目	H29年決算額	H30年予算額	科目	H29年決算額	H30年予算額
会員会費還元金	1,073,500	1,100,000	事務費	20,119	30,000
福祉コミュニティ助成金	50,000	50,000	会議費	60,121	50,000
広報助成金	107,350	110,000	組織強化費	24,000	50,000
繰越金	369,563	240,443	慶弔費	5,000	20,000
雑収入	21,824	49,557	事業費	276,084	320,000
			女性部	523,510	540,000
			広報委員会	231,470	230,000
			役員研修費	61,490	60,000
			地域活動推進費	180,000	180,000
			予備費	0	70,000
			繰越金	240,443	
合計	1,622,237	1,550,000	合計	1,622,237	1,550,000

平成 30 年度スタート
 平成 30 年度東支部代議員会開催
 【地域の誰もが安心して住める環境に！】

平成 30 年度事業計画
 基本方針

4月22日、地域福祉センターともべ(旧社会福祉会館)で平成30年度東支部代議員会が開催されました。

平成29年度事業報告、収支決算報告、平成30年度の事業計画案、収支予算案が提案され、執行部の原案通り承認されました。

地域の誰もが安心して生活できる環境づくりを進めるためには、住民同士の協調と「助け合い」が必要です。東支部はそのために内外の様々な声に耳を傾け、地域に密着した支部社協としてのきめ細かな活動を推進します。

1 地域交流活動の推進

- (1) 県立友部特別支援学校との交流
- (2) 友部小学校との交流
- (3) 児童の交通安全、防犯活動・通学路立哨活動(9地点)
- (4) 青色防犯車パトロール
- (5) 地区敬老会への参加協力

2 人づくり、地域づくり事業への支援

- ◎ 五平地区・盆踊り大会
- ◎ 柿橋地区・柿橋総区運動会
- ◎ 南友部地区・どんと焼き
- ◎ 南友部地区・初詣の会
- ◎ 南友部地区・花火大会
- ◎ 五平地区・ワーホイ祭り
- ◎ 鴻巣地区・祇園祭
- ◎ 西飯田地区・グラウンドゴルフ大会

3 高齢者の親睦と健康づくり支援

- (1) クロツケー大会開催
- (2) グラウンドゴルフ大会開催

4 子どもの健全育成支援

- (1) 「子ども会事業」への支援
- ◎ 南友部・子どもみこし祭り
- ◎ 鴻巣・子どもみこし祭り
- ◎ 五平・盆綱
- (2) 子ども達と支部の交流企画
- (3) 子供会への活動費助成

5 女性部の活動

- (1) 高齢者福祉活動
- 4ブロックでの①ミニサロ、②対話と食事会
- (2) 一人暮らし高齢者への配食サービス(年2回)
- (3) ふるさとまつりバザー出店
- (4) 女性部研修会

6 広報委員会活動

- (1) 広報紙「支部だよりひがし」発行(年4回)
- (2) 広報委員研修会

7 支部研修

支部委員・福祉推進員との交流研修

8 笠間市防犯活動参加

- (1) 市防災連絡協議会の「防犯キャンペーン」
- (2) 年末特別警戒防犯パトロール出発式
- (3) 笠間地区安全安心まちづくり大会

9 会員会費の募集

事業推進のために、会員会費を区長、班長、福祉推進員、民生児童委員の皆さんにご協力をお願いし募集する。

平成 30 年度東支部役員 (敬称略) (*は新任)

- 支部長 綿引隆信
- 副支部長 鈴木義雄
- 副支部長 平野賢治
- 副支部長 友部由紀江
- 会計 塩幡高男
- 会計 橋本由合子
- 監事 菱沼征一
- 監事 滝本洋一
- 女性部長(兼任) 友部由紀江
- 副部長*山口弘子(南友部)
- 副部長 根本よし子(柿橋)
- 副部長 小松崎伸子(宮前・鴻巣)
- 副部長*溝部益美(五平)
- 広報委員長 西澤暉雄
- 民生委員代表 石坂彰敏(南友部・宮前・鴻巣)
- 民生委員代表 海老澤淳子(五平・柿橋)

ボランティア活動と 秘湯巡り

南友部 大平 敏正

人は定年退職後、組織という集団から離脱して新たな生き場所と人間関係を構築しなければならぬ。私は、余生を楽しく意義あるものとして生きようと思っている。

社会への関わりにおいては、独居老人に昼食を作って届けるボランティア活動を始めた。ボランティアは人のために尽くすだけではない。自分たちで打った手打ちうどんの弁当を届けた時のことである。「うまかったよう」と大満足の笑顔で喜んでくれた一人暮らしのお婆さんがいた。そんなに喜んでくれるのかと、自分自身が嬉しく幸せになった。ボランティア活動の意義を実感した瞬間であった。

「カムイワッカ湯の滝」に次ぐ思い出の秘湯は海中温泉である。北海道羅臼町の「瀬石温泉」、伊豆式根島の「地鉈温泉」、屋久島の「海中温泉」など。海と一体化した感覚は海中温泉でなければ味わえない温泉浴である。

秘湯巡りに限らず、旅は心身のリフレッシュに最適である。その土地、その国の自然、歴史、文化に触れること、特に見ず知らずの人々との出会いが「秘湯巡り」でも多生の縁である。中でも一番印象に残っているのは「秘湯巡り」である。中でも一番印象に残っているのは「秘湯巡り」である。



ご自宅の庭にて

2018

夫婦で介護施設を体験して

西内郷 多田 邦生

お誕生日おめでとうございます。

S.15
3月9日

多田 邦生様

施設の職員さんが作ってくれた誕生日の色紙

小規模多機能型居宅介護事業所という名を聞いたことがありませんか。名前通り、きめ細かい介護サービスを行う地域密着型の介護事業所です。

私事、S字結腸症の手術後、急な発熱などのおそれがあり、週3回の妻の人口透析の治療が8時間となるために、近くの介護施設に日帰りステイをお願いしていました。

ところが昨年、妻が膝の関節の手術を受けることになりました。妻の入院中、私は施設の宿泊介護を受けることになりました。

幸い妻の手術はうまくいって退院の日が近づいてきました。手術後10分足らずの退院、夜8時過ぎの帰宅となることに不安を感じました。

そこで施設側、ケースワーカーと協議して、退院後は妻も施設に宿泊することにしていただきました。

妻の透析の日には施設の手で病院まで送っていただき、20時過ぎにタクシーで帰宅する妻に合わせて私の夕食も遅らせるというわがままも聞いていただきました。10日ほどの施設での生活の後帰宅し、離れて暮らす娘たちも安心だったようです。おかげで例年通りのできました。

施設が小規模の特性を生かして、色々なニーズに細かく対応する特性が私たちのケースにマッチし、きめ細かく対応していただけたことに感謝です。

東支部 配食サービス

70歳以上で一人暮らしの高齢者の希望者に2回目の配食サービスを実施しました。女性部手作りのヘルシーメニューである豆腐ハンバーグや卵焼きが大変好評でした。68食のお弁当は女性部員や民生委員の方にもお手伝いいただいております。大変喜ばれました。



青色防犯車 パトロール実施

東支部では毎月1回、青色防犯車パトロールを実施しています。平成29年度最後のパトロールは3月12日に実施しました。小学生の下校時間帯を中心に、道路横断の誘導や通学路の安全見守りを行いました。



編集あとがき

気候の変動が著しく、百花繚乱もアツという間に終わってしまいました。

東支部の代議員会にお子さんと一緒に参加された若い方を見て、これからの支部活動が、子どもたちとの共生を目標に明るく楽しく出来たらと力強く思いました。今年も支部だより・ひがしを充実した内容でお届けいたします。

広報委員の渡辺幸江さんが3月で退任されました。長い間ご苦労様でした。(野村典子)